

# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2023

## ニホンナシの新梢の退緑斑点症状は水和硫黄剤とスピロテトラマト剤の体系防除で軽減できる



写真1 葉の退緑斑点症状(左)と被害が甚大化した新梢(右)

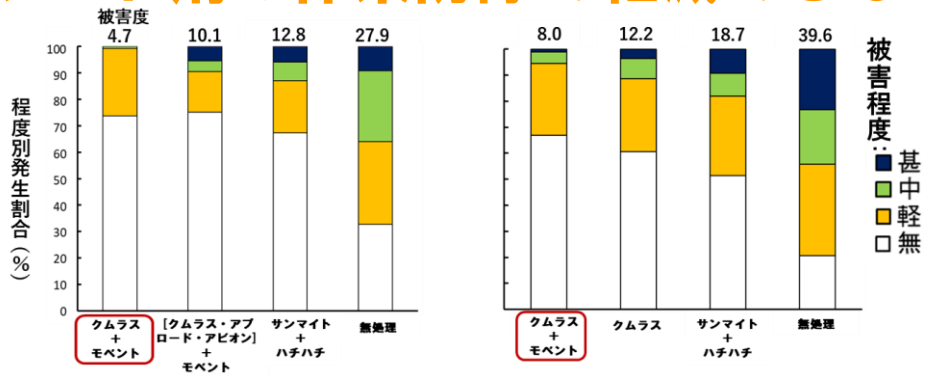


図1 新梢停止期(7月)の新梢における退緑斑点症状の程度別発生割合 (左、2021年; 右、2022年)

### 問 研究のねらいは？

答 ニセナシサビダニが原因と考えられる葉の退緑斑点症状に伴う早期落葉は、ニホンナシの品質低下及び花芽不充実を招きます。本研究では、新梢における退緑斑点症状を7月の伸長停止期まで軽減できる防除法を明らかにしました。

### 問 優れている点は？

- 答
- ① 越冬期(2月下旬)に水和硫黄剤(クムラス)300倍を、新梢伸長期(5月中下旬)にスピロテトラマト剤(モベントフロアブル)2000倍を散布すると、新梢の退緑斑点症状の発生を新梢停止期(7月)まで抑制できます。
  - ② さらに、退緑斑点症状の発生を抑制するだけでなく、本症状が発生した葉の被害度についても軽減できます(図1)。
  - ③ 本防除体系は、同時に幼果の果梗裂傷被害も軽減できます(令和4年度熊本県農業の新しい技術 No.743)。

### 問 栽培または普及するうえで注意する点は？

- 答
- ① 水和硫黄剤の散布は、薬害回避のために発芽前までに行います。
  - ② 越冬期にマシン油乳剤や石灰硫黄合剤を散布できない園で本技術が活用できます。